

# 日本歯周病学会第8回九州地区臨床研修会終了報告

臨床研修委員会委員長 東 克章

平成29年3月5日第8回九州地区臨床研修会において歯科医師、歯科衛生士120名の参加者を得て盛会裡に開催されましたので以下ご報告いたします。

テーマ:患者中心の歯周治療－歯周治療を実践するために必要なこと－

主催:特定非営利活動法人 日本歯周病学会

共催:一般社団法人 大分県歯科医師会

九州歯科大学口腔機能学講座 歯周病分野

大会長:長尾 博通(一般社団法人 大分県歯科医師会 会長)

実行委員長:中島 啓介(九州歯科大学口腔機能学講座 歯周病分野 教授)

準備委員長:東 克章(日本歯周病学会 臨床研修委員会委員長)

日時:平成29年3月5日(日)9:00～17:00

会場:大分県歯科医師会館

プログラム:開会の辞

挨拶

●教育講演1「歯周基本治療をみなおそう！」

池田 雅彦先生／医療法人社団 池田歯科クリニック 院長 北海道札幌市

●教育講演2「超高齢社会に求められる歯周病予防と治療のベーシック」

和泉 雄一先生／東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 歯周病学分野 教授

●特別招待講演

高島 憲二先生／高島歯内療法研究所 所長 熊本県熊本市

●特別講演「歯周基本治療から始めましょう！」

中島 啓介／九州歯科大学口腔機能学講座 歯周病分野 教授

●テーブルクリニック「歯周組織再生療法を成功させる理論と実践」

土岡 弘明先生／土岡歯科医院 院長 千葉県市川市

●歯科衛生士教育講演「歯科衛生士に期待すること～根拠に基づく歯周治療を目指して～」新井 英雄先生／国立療養所 邑久光明園 歯科 歯科医長

「初診時やメンテナンス時の問診と口腔内診査で歯科衛生士に見逃して欲しくないこと」大森 みさき先生／日本歯科大学 新潟生命歯学部 総合診療科 准教授

閉会の辞

朝9時より、長尾博通大分県歯科医師会会長の開会の辞でスタートした。  
午前中の教育講演1は、池田歯科クリニック院長の池田雅彦先生が歯周基本治療の威力、歯周病と外傷性咬合の関わりとその対処法、モチベーション等について易しく明快に話された。その中で、歯周基本治療の著しい効果に驚いた。  
教育講演2は、和泉雄一理事長が歯周病予防から治療まで、そのベーシックについて症例も呈示していただくと共に過去現在、未来を語っていただいた。また、社会的側面や医科とのコラボレーション、歯科の独自性とこれからの役割について幅広い視点から考察された。

昼休みには協賛企業によるデモンストレーションがあった。

午後は、特別招待講演として高島歯内療法研究所所長の高島憲二先生が御自身の人生の歩みをたどりながら、生きていく上で身につけておくこと、ひいては「人生の幸せ」とは何かについてのお話であった。学術講演会としては特別企画であったが、普通の人では経験しない様な出来事から言える人生の処世術がちりばめられた話内容であった。  
続いての特別講演では九州歯科大学の中島教授にお話ししていただいた。歯肉縁上縁下のプラークコントロールについて症例を交えて考察された歯周基本治療の成功率を上げる方法について、各論毎、懇切丁寧に説明していただきまとめられた。先生のお話から会場にいた私達は、エビデンスの大切さを学んだ。

歯科衛生士教育講演としては、はじめに国立療養所邑久光明園歯科医長の新井英雄先生、次いで日本歯科大学の大森先生にそれぞれお話いただいた。新井先生は、歯周治療における根拠に基づく治療とはどういうことか、また歯周治療において歯科衛生士が根拠に基づく治療を行うためにどのようなことを心がけていけばよいかについて、それを受けて大森先生はその各論として歯科衛生士が患者からどのように情報収集するのか、また円滑に治療を進めるために歯科医師にどのような情報を伝えなければならないかについて講演された。お二人の講演時間が過ぎても質問がひっきりなしで帰りの時間に遅れるほど盛況であった。

土岡歯科医院院長の土岡弘明先生のテーブルクリニックでは、定員をはるかに超える受講者数で熱の入った講演となった。いろんな再生療法についての講義を先生自家製の模型を使ったスキルフルな実習で時間をかなりオーバーして終了した。

今回の研修会は、委員会全員の総力をあげて行ったもので、各委員の能力の高さに助けられた。もちろん大分県歯科医師会の実行委員の先生方にも御足労いただいた。今後も今回の様に密度の濃い研修会が開催され続けることを願っている。

以上、大分における第8回九州地区臨床研修会のご報告とさせていただきます。